

平成 25 年 11 月 27 日

各 位

西日本シティ銀行
NCB リサーチ&コンサルティング

消費者動向調査 No.113 「冬のボーナス使いみち調査」
～ 特別テーマ 「主婦の消費税増税に対する消費動向」～
～ 特別テーマ 「NISAについて」～

西日本シティ銀行（頭取 久保田 勇夫）は、消費者動向調査を定期的を実施しております。今般、当行の連結子会社である NCB リサーチ&コンサルティング調査部と共同で「冬のボーナス使いみち調査」を実施いたしました。また特別テーマとして、「主婦の消費税増税に対する消費動向」と、少額投資非課税制度「NISAについて」をあわせて実施し、調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

記

、「冬のボーナス使いみち調査」

調査時期：平成 25 年 10 月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦 500 人
（うち回答者 481 人、回答率 96.2%）

調査結果要約

- 今年の冬のボーナス支給予想、前年冬と比較して「多くなる」は 22.2% で過去最高。
前年冬よりも、ボーナスが「多くなる」は 10.9 ポイント増加し 22.2% で過去最高となった。「少なくなる」は 0.6 ポイント増加し 20.5%。
(調査結果本文 2P)
- 冬のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 57.6%。2 位は「旅行・レジャー」で 37.4%。
冬のボーナス使いみち予定 1 位の「貯蓄」は 57.6% で、前年冬の 62.8% より 5.2 ポイント減少した。
2 位の「旅行・レジャー」は 0.7 ポイント増加して 37.4%。
(調査結果本文 3P)
- ボーナスを貯蓄する目的、1 位は「将来の生活費補てんのため」で 41.8%。2 位は「将来の教育費のため」で 36.4%。
貯蓄の目的は、将来に対する備えが上位を占めている。
(調査結果本文 4P)
- 冬のボーナスを貯蓄する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が 58.9% で 1 位。
景気回復の兆しが見られるものの、安全性を重視する割合が引き続き高水準。
(調査結果本文 5P)
- 関心がある金融商品、1 位は「預貯金」で過去最高の 80.0%。
「預貯金」への関心は、年々高まり 80.0% と過去最高を更新。
(調査結果本文 6P)
- 冬のボーナス、自由に使える金額は、前年冬に比べて夫は 9 千円アップ。妻は 5 千円アップ。
ボーナスが「多くなる」と予想する割合が増加したのを反映し、「自由に使える金額」は前年冬から増加した。
(調査結果本文 7P)

以 上

調査結果本文は[こちら](#)

・特別テーマ「主婦の消費税増税に対する消費動向」

調査時期：平成25年10月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人
(うち回答者481人、回答率96.2%)

調査結果要約

- 増税前にすでに購入されたものはありますか：
『既に購入した』は20.3%、『3月末までに購入あるいは追加購入を予定している』は17.0%、
『購入予定はない』は62.7%。
全体では『購入予定はない』が62.7%で、『既に購入した』～『3月末までに購入を予定している』の
合計37.3%を大きく上回った。
(調査結果本文1P)
- 消費税増税を前提として、すでに購入されたものは何ですか：
すでに購入されたものがある人のうち、57.1%が『家電製品』を、46.7%が『自動車』を購入。
(調査結果本文2P)
- 消費税増税までに購入を予定しているものは何ですか：
購入を予定している人のうち、92.5%が『家電製品』を、46.3%が『自動車』を購入予定。
(調査結果本文2P)

以 上

調査結果本文は[こちら](#)

・特別テーマ「NISAについて」

調査時期：平成25年10月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の主婦500人
(うち回答者481人、回答率96.2%)

調査結果要約

- 『NISA』を知っていますか：
『知っている』は58.6%、『知らない』は41.4%。
年代別では、40代の認知度が最も高く、20代の認知度が最も低かった。
(調査結果本文1P)

以 上

調査結果本文は[こちら](#)

この調査に関するお問い合わせ先は			
西日本シティ銀行	広報文化部	長谷川、梶原	TEL 092-461-1869
NCB リサーチ&コンサルティング	調査部	原	TEL 092-476-3051

当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。